令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立歌島小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	西淀川区
学　校　名	大阪市立歌島小学校
学 校 長 名	三好　祐二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立歌島小学校では、第６学年　26名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立歌島小学校の結果概要

国語・算数とも全国平均を下回る結果であった。国語では「知識・技能」の観点の問題では全国平均を上回っていたが、「思考力・判断力・表現力」の観点では、とくに記述式問題に課題が見られた。算数では、「データの活用」に関しては比較的優位な結果となっているが、各領域において全国平均を下回っている。観点でいえば「思考・判断・表現」に関する観点の問題の正答率が低い。
児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っていますか。」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」などの質問に対する肯定的回答が全国平均より高く、「自分にはよいところがあると思いますか」などの質問で全国平均を下回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】
「言葉の特徴や使い方に関する事項」等、「知識・技能」の観点の問題の正答率が高い。漢字の表記に関わる問題等において、毎年、漢字検定に取り組んできた成果が着実に表れている。日常的に読書に親しんでいるかが問われる問題の正答率も高く、全校および地域ボランティアも交えた継続した読書習慣への取組の成果が表れている。また、短答式の問題の正答率は高いが、記述式の問題の正答率が低く、「書くこと」「読むこと」に課題があるといえる。
【算数】
「問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ」等、選択式や短答式の問題においては比較的正答率が高いものの「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうか」を見る問題等、記述式の問題においては、知識を組み合わせながら、適切に言語化することが難しいという課題が見られる。

質問調査より

「将来の夢や目標を持っていますか。」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」という質問に対する肯定的回答が全国および市平均より高く、将来や地域社会などに視野を広げられている。また「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」という質問に対する肯定的回答も全国および市平均よりも高く、とりわけ後者の質問に対しては、全国平均より16.1ポイントも高いことから、身近な学校生活に対しても一定の肯定感や安心感をもっているといえる。反対に「自分にはよいところがあると思いますか」という質問に対する回答は、全国平均および市平均より下回っており、自己肯定感の低さを読み取ることができる。

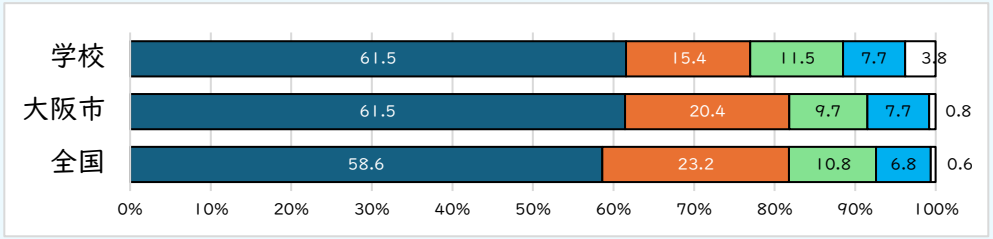
今後の取組（アクションプラン）

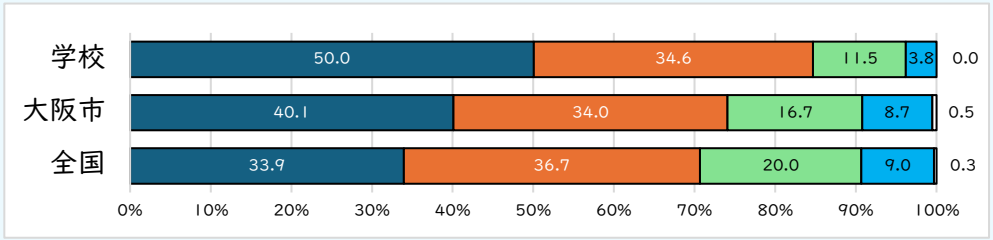
〇漢字検定や読書習慣の定着など、継続してきた成果が表れている内容について、引き続き取り組み、言語能力をさらに向上させる。
〇国語および算数ともに記述式問題を不得手としている傾向から、ふり返りやまとめなど、自分の考えを言語化し表現していく活動を日常的な授業の中で多く取り入れていく。とくにICT活用と「書くこと」の効果的な併用に関し、校内研修を通して、授業改善を図る。
〇児童質問紙調査の結果にある「困ったときに相談できる教員像」をより一層大切にしながら、小規模校ならではの柔和的で温かみのある雰囲気の強みを生かし、全学年での「たてわり活動」等を中心に、全教職員で児童の自己肯定感を高める取組にさらに取り組んでいく。

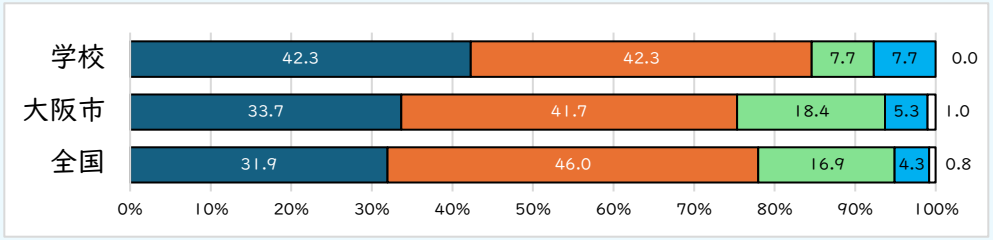
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

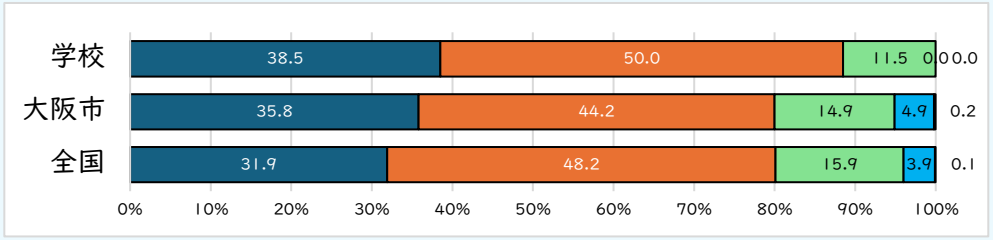
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

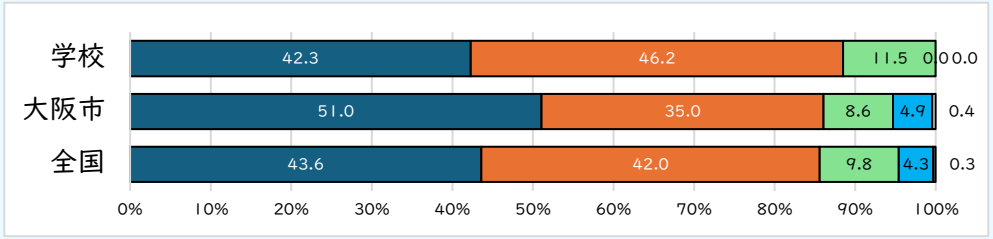
質問番号	質問事項
（10）	将来の夢や目標を持っていますか
（13）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
（16）	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
（33）	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
（8）	自分には、よいところがあると思いますか











1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5
6
7
その他・無回答

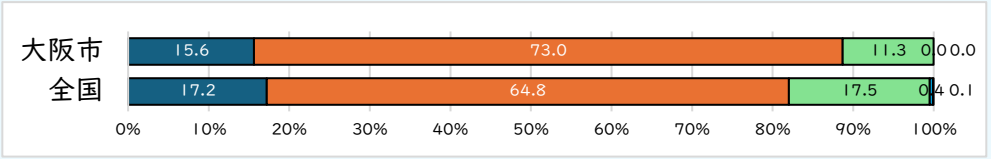
令和８年度全国学力・学習状況調査　学校質問調査より

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

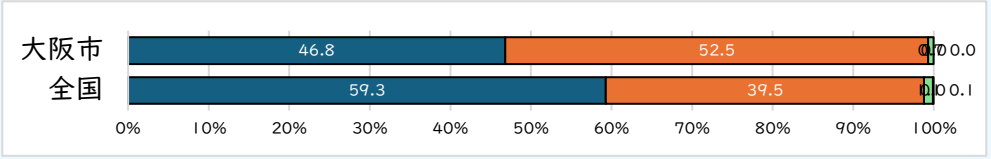
質問番号	質問事項
（10）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行いましたか
（11）	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか
（16）	ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか
（26）	調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか
（29）	調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組めていると思いますか

【学校の回答】　2　どちらかといえば、行った



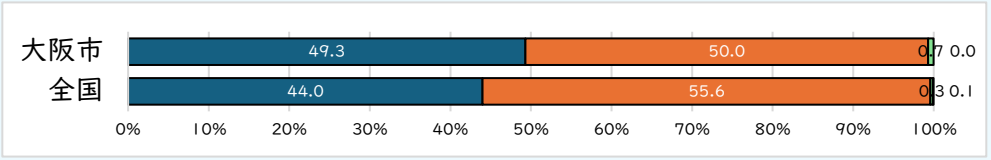
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　2　どちらかといえば、行った



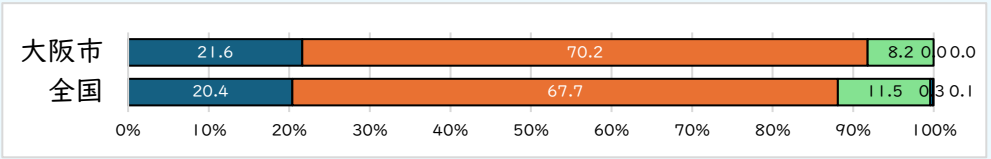
1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

【学校の回答】　1　十分に取り入れている



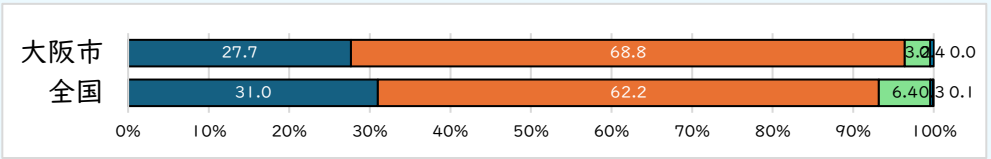
1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

【学校の回答】　2　どちらかといえば、そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない